

第5回 共生社会被災者支援の会
議事録

日 時 2011年4月27日(水) 午後6時30分から

場 所 梅田サテライト108号教室

参加者 柏木宏、矢野裕俊(以上、教員)、阪野修、坂口一美、尾崎力、藤井伸二、堺明生、水原清香、大賀善子、後藤陽子、新家潤子、前川武志、吉野俊明、岡田高明、岩山春夫、中子富貴子、瓜生(西成区役所)、林(西成区役所)、井村(大阪府大)、金(豊中市)

1) 気仙沼での先遣活動報告(阪野・坂口)

● 気仙沼の被災状況説明(阪野の写真スライドによる)

陸に放置される船舶、更地となった住宅地、瓦礫の山など、震災から1ヵ月経過しているが、阪神淡路大震災の2週間後ぐらいの状況である。

● つばさ高校の気仙沼ボランティアについて、現地の被災状況や衛生面での問題などから、どこで活動を行なうかが課題となる。

ケガによる破傷風や粉塵や腐敗した魚の悪臭など身体への悪影響が心配されるため、比較的安全な避難所の大掃除をさせてもらう段取りをつける。また、ボランティアセンター主催のボランティアパックにも申込しているが状況が流動的なため活動内容が確定していない。

● 避難所にいる被災者の状況変化

家に戻る人と家を失って避難所生活を余儀なくされる人との間で要求水準のズレが生じている。個別のニーズを町内会長が調査を実施しているところである。

● これまでの気仙沼における協力者(団体)の確認

小野寺容(ひろし)氏

気仙沼の旧家出身でキシモトファミリー財団の事務局長(元)。シーエコロジージャパンの通訳もしており、この団体とコラボで大島(気仙沼市の離島)への支援活動を行なっている。我々の活動に対して宿泊ならびに食事を提供してくれる予定。

熊吉建設社長

気仙沼西高校のPTA会長で地元の有力者。我々の活動に関して現地の活動拠点となりそうな場所を貸してくれる可能性がある。

NPO法人ネットワークオレンジ

障害者の就業・自立支援を行なっている団体。気仙沼復興に向けてフリーマーケットを実施したり「みらい塾」開設したりと震災後も意欲的に活動を展開している。今後、我々の活動とのコラボも期待できる。

この他にも今回の気仙沼ボランティアの実施に関して、気仙沼教育委員会ならびに気仙沼高校の先生方、市議員の守屋氏(現在、階上避難所のリーダーとして活躍)、一級建築士の藤田氏、市長関係者、避難所で活動する市職員や保育士の方々、その他多くのボランティアの方々から協力を得ている。

2)「がんばろう！つばさネットワーク」の気仙沼ボランティアに関する報告(藤井・阪野)

- 「がんばろう！つばさネットワーク」の立ち上げとボランティア募集
4/22 17:00～ 結成式(北摂つばさ高校にて) 柏木先生出席、挨拶
4/24 13:00～ 街頭募金活動(阪急茨木駅にて) 高校生他 50名の参加
- 活動内容、準備物等の確認
今回は安全性を確保した活動に限定して実施する予定(但し、ボランティアパックの内容がどうなるか未定)
ボランティア活動の他に現地の高校生との交流(たこ焼きパーティー)や守谷氏からの講話など高校生ならではのプログラムも追加した。
現地での多様な活動に対応するため、今回はバス便とは別に8人乗りの車を石井信夫(M-1)氏より借りる予定。
- 現地の経済活動への貢献
少しずつ現地の商店街も復興しようとしているので、現地での買い物も必要。

3)今後の活動について

- 「がんばろう！つばさネットワーク」の気仙沼ボランティアについての詳細は、この会議終了後、行う。
- 支援物資を贈るにしても具体的に必要なものを把握することが重要と思われる。現地の経済活動の弊害にならないように配慮することも大事。
- 夏季などは衛生上の問題もあるので、避難所のお掃除隊を定期的に派遣することもよいのでは。
- 共生分野には様々な活動を行なっている在學生や修了生がいる。そのようなネットワークを活かした活動が展開できればよいのでは。
- 避難所にいた高齢者の中については、家族が面倒を見きれずに別の施設に移動させられているようである。他にもボランティアセンターと行政の連携がうまくできていないこともあり、現地のニーズに沿った支援活動が展開できればよいのでは。

4)次回の会合について

次回の会合については、気仙沼ボランティアの報告なども含めて5月11日(水)6時30分から行なうこととした。

文責：後藤陽子